

平成 25 年度 若林図書館利用者懇談会 実施報告

1 日 時 平成 26 年 3 月 20 日（木） 13 時 30 分～15 時 05 分

2 会 場 若林図書館 2 階視聴覚室

3 参加者 利用者 7 人

（個人利用者 2 人、読み聞かせボランティア、図書修理ボランティア、図書配架ボランティア、小学校司書教諭、若林区中央市民センター職員 各 1 人）

職員 4 人

4 配布資料

- ①若林図書館概要 ②平成 25 年度仙台市図書館運営方針 仙台市図書館事業計画
- ③仙台市図書館振興計画（概要版） ④平成 25 年度仙台市図書館要覧
- ⑤利用案内 ⑥としょかんのつかいかた（子ども向け利用案内） ⑦予約ガイド
- ⑧レファレンス（調査・相談）サービスのご案内 ⑨もっと知りたい若林区
- ⑩本びより ⑪ひまわりつうしん ⑫まんまるシアター ⑬ 若林図書館だより
- ⑭あかちゃんの絵本 ⑮BOOK TREE（子どもの本のあんない）

5 内 容

○図書館の事業概要説明

館長より利用者懇談会の趣旨と若林図書館の概要について、主査より平成 25 年度仙台市図書館運営方針と事業計画の説明を行った。

○懇談

出席者全員からご意見等をいただき、図書館から説明・回答した。

6 質問・意見・要望

個人利用者の立場から

- ・市民図書館は中央館としての位置付けなのか。他の地区館よりも一段と専門書を充実させるべきではないのか。
- ・若林図書館の利用者減少への対策の一つとして、商店のリニューアルオープンのように、館内改装や配置換えを行うのはどうか。また、一部閉架の図書と入れ替えも行うとよい。
- ・昨年の開館 20 周年を記念して、客を呼び込めるような何かイベントを行うべきだった。利用者を増やす良い機会だった。
- ・イベント（講座・講演会等）をしても参加者が少ないのは、一般の人が知らされないからではないか。市政だよりと一緒に配布してもらうのはどうか。
- ・児童館や市民センターのチラシのように町内会で回覧するのはどうか。
- ・図書館に対する（物理的ではなく心の）距離感を持っている人もいる。読みたい本を申し込めば検討が早く、新刊でも比較的早く準備できること、読んでみて手元に置きたいと思った本は購入するというふうに利用できることを知らない人が多い。利用して便利さが分かっている人はまた利用するが、来ない人は来ないという状況ではないか。
- ・（図書館は）敷居が高いと感じている人はいる。知っている人は何か調べたいことがあったら図書館へ行こうと思うが、利用していない人はそうは考えない。

- ・図書館の利用者減というのは、夢中で本を読む楽しさを味わう機会を逃しているせいではないか。図書館などで小さい頃から紙芝居を読んであげる等により読む楽しさ、活字から自分で想像する楽しさに触れる機会を与えることが大事ではないか。
- ・昔はDSとかテレビゲームも無かったので、時代の変化もあるのでは。
- ・仙台市図書館振興計画は5年間の計画ということだが、目標を達成するために、PLAN・DO・CHECKを繰り返し、今年度できなかったことを平成26年度は集中的にやっていくべきである。
- ・図書館の性格上、蔵書数や利用者数などの数字は一つの指標にはなるが、それだけでは評価できない。図書館全体として地域とのつながりや結びつきというものをどう評価したらよいのか。
- ・仙台市でどれくらい図書館行政に力を入れているかの指標の一つに、司書の数がある。郷土史関係のレファレンスに対し、コンピュータで調べただけでは適切な資料は見つからない。郷土史のこの資料に当たればよいのではないかという予測がつく司書がいて欲しい。
- ・時代小説や北欧ミステリーなど、ブームになっている本を備えて欲しい。
- ・蔵書で（若林図書館の）特色を出すことはやっているのか。
- ・真山青果の本など、地域（若林区）に関する資料を備えるべき。
- ・若林区民13万3千人に対して、若林図書館の開架にある本が少ない。特に専門書が少ない。一般的なことを調べるには中程度の内容の本はたくさんあるが、もっと深く調べたいときには物足りない。
- ・リクエストして購入してもらった本を、申込をした図書館とは別の図書館で受け取りたいと伝えたところ、断られた。
- ・貸出期限内に読み切れない本について、電話で次の予約の有無を確認した上で、延長できるようにして欲しい。
- ・最寄りのバス停の名称は「若林区役所前」または「若林区文化センター前」となっており、若林図書館という表示はなく、図書館がどこなのか分かりにくい。

図書館から

- ・市民図書館は中央館的な役割を担っている。資料の面では、各館の郷土資料の書棚とは別に独立した郷土資料コーナーがあり、質量とも西公園時代の古い資料も引き継いでいる。集中選書で選んだ全館で1冊備えるべき専門的な本を配置する際も、市民図書館や泉図書館に多く配置している。
- ・20年経ち傷みは出ているので、改装・修繕等必要な所もある。適宜配置替えは考えたい。照明の蛍光灯が古くなった上（節電のため）間引きされ、暗い印象となっている。
- ・（20周年の）チラシ配布と資料展示は行った。
- ・イベントのお知らせは、市政だよりの若林区版や図書館ホームページに掲載し、毎月の新刊案内等にも載せている。
- ・来館しない人向けの広報として、毎月「若林図書館だより」を近隣のスーパーや区役所に設置している。
- ・市政だよりに折り込むなど個別配布は予算的に難しいが、図書館を利用したことの無い人に情報が届かないことは全図書館の課題でもあり、何らかの対策をとりたい。
- ・子どもの頃から本が好きになるように、今後も学校との連携を進めていく。
- ・懇談会での意見や図書館アンケートの満足度調査を元に、数字だけではなくトータルで評価し、見直ししていく。25年度までの評価を、今後26年度、27年度、28年度に反映させていく。
- ・レファレンスに対しては、一人で検索してすぐに「分かりません、ありません」と回答せず、ベテランの職員に相談するなど、皆で調査・回答するようにしている。

- ・若林区は六郷や七郷地区など田畑が多く、一軒家も多いので、農業・園芸分野の図書の収集に力を入れ、若林図書館の特色として打ち出している。
- ・若林区に関わる本やパンフレット等資料のファイリングなど、積極的に備えていく。
- ・集中選書で選定した本をもう少し若林図書館にも配置してもらうことや、各館予算の備品購入費を活かして、徐々に専門的な本も充実させていく。
- ・以前は対応がまちまちだったが、今年2月からは全館で統一して購入後の受取館変更ができるようカウンターマニュアルの改訂を行った。なお、改めて全館に周知する。
- ・電話での貸出延長は、利用者の方にとっては足を運ぶ必要がなく便利なのだが、図書館の職員が電話対応に時間を取られ、窓口でのレファレンス等に注力できなくなってしまう。インターネットを利用した延長や、来館時に窓口で延長をお申し出いただくことでご了承いただきたい。
- ・確かに、バス停や近隣道路上に若林図書館の表示はない。今後分かりやすい経路図を掲載した案内を作成する。

読み聞かせボランティア

- ・約2年間おはなし会のボランティアをやってきたが、参加者が少なく、誰も来ないこともあった。窓口でビラを配るとか、どこかに置かせてもらうなど、提案した。参加者を増やすいい方法はないのだろうか。
- ・泉図書館で開催しているブックトーク講座が、大変人気がある。同じような講座を若林図書館でも開催してはどうか。もっと易しい読み聞かせの講座から始めてもよい。

図書館

- ・おはなし会については、懇談会の中では回答しなかったが、来てくれた子に「おはなし会ノート」を配布し、来るたびにシールを貼ってリピーターを増やす予定。併せて、おはなし会年間スケジュール表を区役所や児童館などに設置し、新規参加者を増やすことを検討中。
- ・読み聞かせの講座については、懇談会の中では回答しなかったが、来年度開催を検討する。

小学校

- ・毎年30名くらいの方が小学校での読み聞かせボランティアに登録している。初めての方はどんな本を選んでよいか分からず、図書館でおはなし会に使える道具（支援パック）を借りられることも知らないで、最初「どうしたらよいか」と相談を受ける。支援パックや学校にない本も図書館に行けば借りられることをもっと伝えてあげればよかった。図書館側からももっと発信すれば、これから子ども達と共にたくさん利用できる若い母親の利用者が増えるのではないかな。
- ・児童向け広報「ひまわりつうしん」を毎月クラス分送っていただいているが、教室に貼っている状態で、各家庭に届けているわけではない。小学校に掲示するには、大きなポスターの方が目立ち、より目に触れるのではないかな。
- ・6年生の担任をしているが、「もっと知りたい若林区」（パスファインダー的なチラシ）が地域学習での児童が質問事項と合致しており役に立つ。高学年は郷土資料については大人の本も使うので、こういう資料があれば教えて欲しい。

図書館

- ・「ひまわりつうしん」については、懇談会の中では回答しなかったが、小学校向けにはB4サイズのポスターも学年分配布することを検討中。

市民センター

- ・市民センターや児童館では（「市民センターだより」「児童館だより」を）町内会の班ごとに回覧してもらっている。各家庭に1部ずつ配るのは経費的に無理がある。ただし、回覧なので、奥さんだけしか見ない等広報効果としては限界もある。興味の無い人は最初から素通りする。文化センターの場合は、入口にイベントや講座の案内をまとめて設置しているが、興味を持っている人は全部持っていく。
- ・市民センターでもイベントや講座の参加者を増やすために努力している。例えば、ラジオ番組や「OH! バンデス」に出演するとか、ちょっと変わったこともやっている。若林区は地下鉄からも遠く、東西線からも離れているため、地域に根差したPRをし、地域と密着した施設になっていくしかないと思う。学校と連携して子供たちが図書館を身近に感じて来てくれるようにするべき。（館内では）静かにしなくてはいけないということがあるだろうが、子ども向け行事の中で、ぐりとぐらのおやつを作るなど、本と関連した行事を別室でやるのも有効ではないか。

図書館

- ・地域に根差したPRをし、学校や地域と密着した施設になっていくことを目指したい。

* 図書修理ボランティアと図書配架ボランティアからは、別途若林図書館応援団懇談会で意見を伺ったこともあり、今回はボランティア業務に関する意見等はなかった。